

別記

第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事	令和3年7月28日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 埼玉県朝霞市西原一丁目1番1号	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社武蔵野 代表取締役社長 安田信行

環境マネジメントシステムの名称	エコアクション21
適用範囲	・京都工場におけるめん類の製造及び弁当・惣菜に係る、全ての活動 *工場敷地内に常駐する商品開発部門及び事業会社の業務内容には適用外とする。ただし、その部門・会社の社員には当工場適用
導入年月日	2020年 4月 1日
認証番号	エコアクション21:0012651
基本方針	株式会社武蔵野 京都工場は製造に係る全ての活動、製品及びサービスの環境影響を改善するために、環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和と目指します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	* (1) ~ (4) は基準年度対比原単位での削減目標設定 (1) 電力使用によるCO2の削減 (2) ガス使用によるCO2の削減 (3) 水使用量の削減 (4) 産業廃棄物発生量の削減 (5) 啓蒙活動&社会貢献
目標を達成するための取組の内容	(1) ~ (4) 各部署作業手順書による従業員教育。 装置・機器等未使用時のOFF徹底、空調適正温度厳守、 作業・清掃時に水の垂れ流しをしない、 分別の徹底、原材料・半製品・製品等のロス低減、 手直し・作りすぎの抑制 など (5) 工場周辺清掃 各部署参加で毎月1回実施。
目標を達成するための取組の進捗状況	・計画した取り組みを継続中。 ・工場の増築、新アイテム追加稼働による生産高大幅増加により、電力使用量と産業廃棄物の削減が想定通りにできていない状況。 ・引き続き生産効率の改善に努めながら、削減を図る。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	(1) 電力使用によるCO2の削減: 原単位前年比 8.6%削減 (2) ガス使用によるCO2の削減: 原単位前年比 3.3%削減 (3) 水使用量の削減: 原単位前年比 0.5%削減 (4) 産業廃棄物発生量の削減: 原単位前年比 11.9%削減 (5) 啓蒙活動&社会貢献: 毎月実施中 ※産業廃棄物は今まで一般廃棄物処理だったものが産廃扱いに変更になり、増加となった
事業活動に係る法令の遵守の状況	工場の新規棟が稼働し排水処理に負担が掛かってしまい、令和1年11月に再度水質基準値の逸脱が起きてしまった。工場内に排水の管理専任者を立て管理の徹底を行うことで現在は正常に推移している。また公害防止管理者も設置済、再発防止に努めている。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	・評価・見直しの必要性については、原則として年1回検討することになっている。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。